

平成 20 年 1 月 7 日
アイエヌジー投信株式会社

ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンドの基準価額の下落について

平素は「ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンド」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、1月4日（金）の「ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンド」（以下、当ファンド）の基準価額は9,005円となり、2007年12月28日と比べて499円下落（-5.25%）しました。この原因、背景となる市場の動き及び今後の見通しについてご報告いたします。当ファンドの基準価額が下落した要因は（1）海外株式市場の下落と（2）主要通貨に対する円高の二つです。

昨年末から年始（12/28-1/3）にかけての海外市場において、米国でサブプライムローン（信用力の低い個人向け住宅融資）問題を発端とした住宅市場の一段の減速を示す指標が発表されたことや、12月の米供給管理協会（ISM）製造業景況指数が予想外に製造業活動の縮小を示したことなどから、米国経済が景気後退に陥るリスクが高まったとの懸念が広がりました。一方で、原油価格（WTI）が1バレル100ドルを超える史上最高値を更新したことなどから、インフレに対する警戒感も強まりました。こうした動きを受けて、米国株式市場は下落、金融、商品市場の波乱が世界的に連鎖する形となりました。円相場では、市場全体の値動きが荒くなったことで、投資家のリスク回避姿勢が強まり、円資金を調達して外貨建資産へ投資する「円キャリー・トレード」の巻き戻しが進んだことから、円買い・ドル売りの動きが強まり、一時1ドル108円台まで円高が進みました。

市場では、サブプライムローン問題の米国の実体経済に与える影響への懸念や、原油価格の動向から、短期的には神経質な展開が続くと予想されます。しかしながら、米国の景気減速はある程度市場に織り込まれてきていることや、エマージング諸国の経済も底堅く、中長期的な世界経済の成長は持続するものと思われ、金融市場全般も徐々に落ち着きを取り戻すと思われます。

当ファンドは、引き続き、ブランド力が強く、高品質の製品やサービスを継続的に提供する企業や、圧倒的なブランド構築につながる革新的な商品開発戦略をとる企業の株式を組入れていく方針です。

以上

本資料は、アイエヌジー投信株式会社が情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。一般的または特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合があります。本資料記載の統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、アイエヌジー投信株式会社あるいはその関連会社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時における判断であり、予告なしに変更されることがあります。アイエヌジー投信株式会社とその関連会社等は、本資料の利用に起因する、いかなる直接・間接の損害にも責任を負いません。過去の成績は将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。

◆ 主要な株価指数、為替レート、長期金利の動向

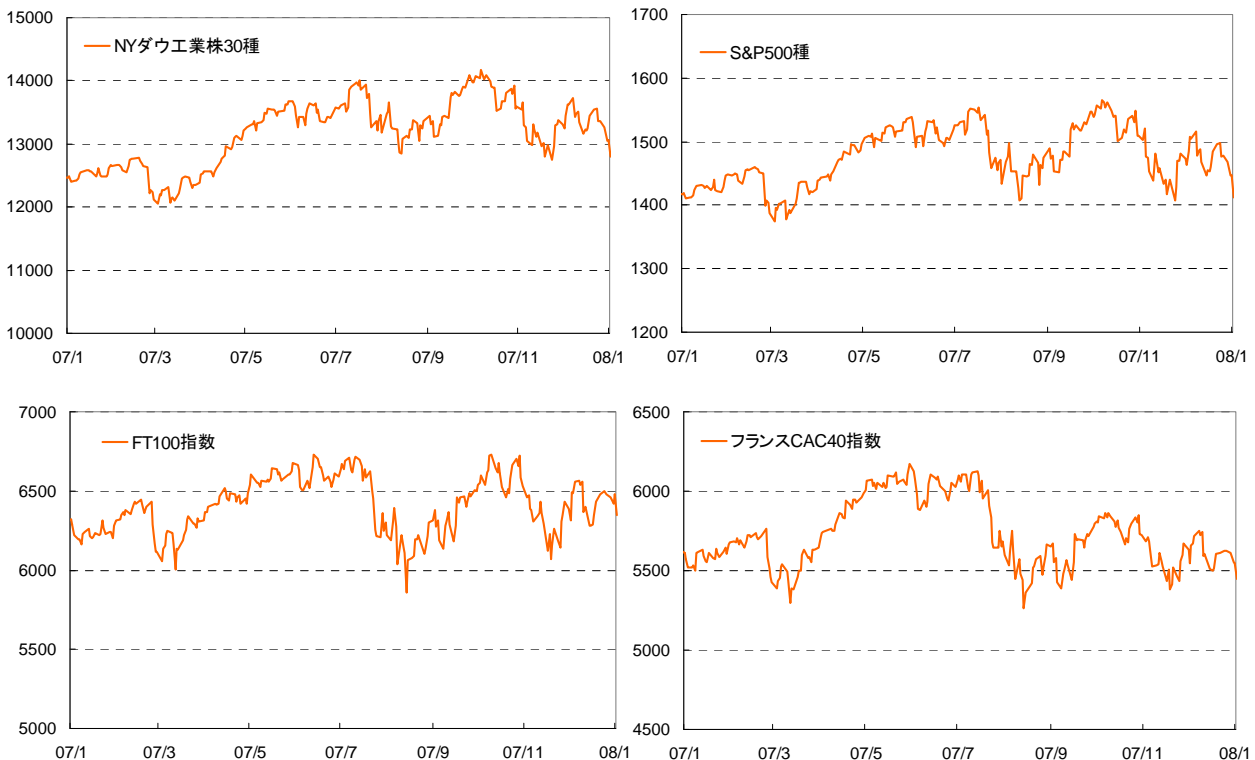
株価指数	12月27日終値	1月3日終値	変化率
NYダウ工業30種	13359.61	13056.72	-2.27%
FT100指数	6497.80	6479.40	-0.28%
ドイツDAX	8038.60	7908.41	-1.62%
フランスCAC	5627.48	5546.08	-1.45%

為替レート	12月28日終値	1月4日終値	変化率
ドル/円	114.15	109.28	-4.27%
ユーロ/円	166.66	161.1	-3.34%

長期金利	12月27日終値	1月3日終値	対比
米国10年国債利回り	4.199	3.894	-0.305
ユーロ10年国債利回り	4.369	4.190	-0.179

※為替レートは三菱東京UFJ銀行 対顧客電信相場 (出所)ブルームバーグ

◆ 主要な株価指数の過去1年間の推移 (2007年1月3日~2008年1月3日)



出所:ブルームバーグ

本資料は、アイエヌジー投信株式会社が情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。一般的または特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料記載の統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、アイエヌジー投信株式会社あるいはその関連会社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時における判断であり、予告なしに変更されることがあります。アイエヌジー投信株式会社とその関連会社等は、本資料の利用に起因する、いかなる直接・間接の損害にも責任を負いません。過去の成績は将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。

◆ 主なリスクおよび留意点

当ファンドは、主として「ING・プレステージ&ラグジュアリー・マザーファンド」を通じて、株式など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではなく、これを割込むこともあります。ファンドの投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

下記は、主なリスク及び留意点であり、当ファンドに係るすべてのリスクを網羅しているわけではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

○ 株価変動リスク

株式の価格は、国内および国際的な政治・経済動向、発行企業の業績、市場の需給関係等によりその価格が変動します。特に、成長性の高い企業や成長性の高い業種については価格変動リスクが大きくなる傾向があります。株式の価格が変動すればファンドの基準価額の変動要因になります。

○ 為替変動リスク

ファンドは、主として外貨建資産に投資を行いますので、為替変動リスクが生じます。ファンドは為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を直接的に受け、円高になればファンドの基準価額の下落要因になります。

○ 信用リスク

株式の発行企業が債務不履行になった場合、当該企業の株式の価格は大きく値下がりし、または、全く価値のないものになる可能性があります。発行企業の倒産、財務状況・信用状況の悪化等の影響により有価証券の価格が下落するとファンドの基準価額の下落要因になります。

○ 流動性リスク

株式などの有価証券を売買する場合、その相手方が存在しなければ取引が成立しません。特に、発行量の少ない場合や、多くの有価証券が長期保有の意思をもって保有されており流通量が少ない場合等、ファンドが最適と考えるタイミングで売買できない可能性があります。この場合、享受できるべき値上がり益が少なくなったり、または、実勢より低い価格で売却しなければならないケースが考えられ、ファンドの基準価額の下落要因になります。

○ カントリーリスク

一般に有価証券への投資は、その国の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制等の要因によって影響を受けます。そのため、投資対象有価証券の発行国の政治、経済、社会情勢等の変化により、金融・資本市場が混乱し、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難になることがあります。

○ 解約資金の流出に伴うリスク

大量の解約資金を手当てするために保有有価証券等を売却する場合、ファンドの基準価額に影響を与える場合があります。

○ 投資対象に係る留意点

ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行い、ポートフォリオを構築しますので、株価変動、信用、流動性リスクが相対的に大きくなる傾向にあり、株式市場全体の動きと比べファンドの基準価額の動きが大きくなる場合があります。

本資料は、アイエヌジー投信株式会社が情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。一般的または特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料記載の統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、アイエヌジー投信株式会社あるいはその関連会社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時における判断であり、予告なしに変更されることがあります。アイエヌジー投信株式会社とその関連会社等は、本資料の利用に起因する、いかなる直接・間接の損害にも責任を負いません。過去の成績は将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。

◆ お客様にご負担いただく費用

お客様に直接ご負担いただく費用

申込手数料

お申込日の翌日の基準価額に対して上限3.150%（税抜き3.00%）を乗じた額とします。（注）

※＜自動けいぞく投資コース＞を選択された受益者が収益分配金を再投資する場合は無手数料とします。

（注）販売会社により異なりますので、販売会社または委託会社までお問い合わせください。

信託財産留保額

換金時の基準価額に対して0.3%の率を乗じた額とします。

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

保有している期間の純資産総額に対し年率1.575%（税抜き1.50%）。

その他の費用

監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等をご負担いただきます。（その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことはできません。）

*詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「手数料等および税金」でご確認ください。

◆ 取扱い販売会社一覧

金融商品取引業者名		登録番号	加入協会
SBIイー・トレード証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会
コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第15号	日本証券業協会 社団法人投資信託協会 社団法人日本証券投資顧問業協会 社団法人金融先物取引業協会
スタンダードチャータード銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第604号	日本証券業協会
スルガ銀行株式会社	登録金融機関	東海財務局長（登金）第8号	日本証券業協会
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	日本証券業協会

お問合せ先

アイエヌジー投信株式会社

金融商品取引業者 登録番号 関東財務局長（金商）第 300号

加入協会： 社団法人投資信託協会 社団法人日本証券投資顧問業協会

<ホームページ> <http://www.ingfunds.co.jp>

<電話> 03-5210-0653

本資料は、アイエヌジー投信株式会社が情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。一般的または特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料記載の統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、アイエヌジー投信株式会社あるいはその関連会社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時における判断であり、予告なしに変更されることがあります。アイエヌジー投信株式会社とその関連会社等は、本資料の利用に起因する、いかなる直接・間接の損害にも責任を負いません。過去の成績は将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。